



## 2023年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年3月15日

上場会社名 リンカーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5131 URL https://corp.linkers.net  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 佳宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 江頭 宏一 TEL 03 (6822) 9585  
 四半期報告書提出予定日 2023年3月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年7月期第2四半期の業績 (2022年8月1日～2023年1月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第2四半期	703	—	△32	—	△39	—	△41	—
2022年7月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期第2四半期	△3.21	—
2022年7月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 2022年7月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年7月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年7月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 2023年7月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2023年7月期第2四半期	1,892	1,699	1,699	1,699	89.8
2022年7月期	1,715	1,466	1,466	1,466	85.5

(参考) 自己資本 2023年7月期第2四半期 1,699百万円 2022年7月期 1,466百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年7月期	—	0.00	—	—	—
2023年7月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年7月期の業績予想 (2022年8月1日～2023年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,192	55.2	169	158.9	158	149.6	150	206.2	11.55

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 1株当たり当期純利益については、公募による新株式数(966,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年7月期2Q	13,638,000株	2022年7月期	12,270,000株
② 期末自己株式数	2023年7月期2Q	—株	2022年7月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年7月期2Q	12,922,141株	2022年7月期2Q	—株

(注) 2022年7月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数」は記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第2四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものです。なお、当社は、前第2四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種政策の効果や、行動制限の緩和に伴う個人消費の増加など、経済活動の緩やかな持ち直しの動きが見え始めましたが、ウクライナ情勢の長期化、原材料の高騰や物価上昇、さらには金融資本市場の変動等の影響も加わり、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社は、「マッチングで世界を変える」というミッションのもと、企業と企業の出会いのあり方を見直し、従来の産業構造では成し得なかった最適な出会いを提供することで、多くのイノベーションを生み出す産業のしくみを国内外に築き、産業全体の生産性を最大化するための連携のハブとなる企業を目指すために、マッチングプラットフォームの運営を中心としたビジネスマッチング事業を展開しております。

サービス内容としては、ニーズ起点のマッチングを手掛ける技術探索サービス「Linkers Sourcing」、シーズ起点のマッチングを手掛ける用途開拓サービス「Linkers Marketing」、調達支援サービス「Linkers Trading」、SaaS型の金融機関向けマッチングシステム「Linkers for BANK」、及び当該事業会社向けマッチングシステム「Linkers for Business」の提供による探索・マッチングサービスと、技術ニーズ・シーズの調査を手掛ける「Linkers Research」を中心としたリサーチサービスを主たるサービスとしております。

当社が取り組むビジネスマッチング事業は、企業研究費の投下による新技術創出への動向や、製造業を中心とした設備投資の再開、地域金融機関の収益多様化に向けた取り組みなど、オープンイノベーションへの投資領域の拡大に伴い、需要は拡大していくと想定しております。一方で、長期化している新型コロナウイルス感染症や、サプライチェーンの混乱による企業活動の停滞が、ものづくりの現場を直撃しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような事業環境の中、探索・マッチングサービスにおいては、「Linkers Sourcing」及び「Linkers Marketing」の着手案件数が105件と前年同期に比べ減少したものの、当事業年度の新規施策である海外探索をスタートし、今後の探索ネットワーク拡大に向けた取り組みを実施しております。また、前事業年度から引き続き、政府によるカーボンニュートラルへの取組強化を背景とした再生アルミニウムのサプライヤー探索である「Linkers Trading」による売上高の確保を行うと共に、金融機関向けマッチングシステム「Linkers for BANK」、並びに事業会社向けマッチングシステム「Linkers for Business」を合わせた「LFB」は、累積導入機関数が31機関となり、サービス開始後解約実績もなく着実にストック収益が拡大しております。

リサーチサービスにおいては、複数の企業に参加を募り、その調査結果を参加企業に限定して提供するマルチクライアントリサーチの販売が好調となりました。近年注目度の高いカーボンニュートラルに関する技術動向や、生体センシング技術等を企画設計したレポート販売の増加も一因し、「Linkers Research」の調査件数は232件と売上とともに好調に推移いたしました。

一方、コスト面については、「Linkers Trading」サービスによる仕入高の発生、「Linkers Research」の売上増加に伴うリサーチ外注費用の増加、並びに将来の業容拡大に向けた採用強化による人件費やシステム関係費用等が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は703,601千円、営業損失32,932千円、経常損失39,321千円、四半期純損失41,477千円となりました。

なお、当社はビジネスマッチング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ176,968千円増加の1,892,466千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加129,173千円、ソフトウェアの増加52,714千円等によるものであります。

#### （負債）

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ56,230千円減少の193,054千円となりました。これは主に、未払法人税等の増加6,586千円の方で、賞与引当金の減少8,630千円、役員賞与引当金の減少6,120千円、借入金の返済による長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少27,706千円等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ233,198千円増加の1,699,411千円となりました。これは、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う公募増資や新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ137,338千円増加し、四半期純損失41,477千円の計上によるものであります。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は1,326,440千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、減少した資金は61,153千円となりました。これは主に、税引前四半期純損失39,321千円の計上に加え、売上債権の増加額8,373千円、棚卸資産の増加額13,056千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は56,642千円となりました。これは、無形固定資産の取得による支出56,642千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、増加した資金は246,970千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出27,706千円の方で、株式の発行による収入266,616千円等によるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月期の業績予想につきましては、2022年10月26日に「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」にて公表いたしました通期業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,197,266	1,326,440
売掛金	134,557	141,610
商品及び製品	3,251	7,319
仕掛品	10,978	19,967
その他	46,423	52,191
流動資産合計	1,392,477	1,547,528
固定資産		
有形固定資産		
建物	45,616	43,807
工具、器具及び備品	13,000	11,529
有形固定資産合計	58,617	55,336
無形固定資産		
ソフトウェア	129,168	181,883
ソフトウェア仮勘定	27,101	1,808
無形固定資産合計	156,270	183,692
投資その他の資産		
敷金及び保証金	60,636	59,422
繰延税金資産	33,351	32,340
その他	14,144	14,144
投資その他の資産合計	108,133	105,908
固定資産合計	323,020	344,937
資産合計	1,715,498	1,892,466
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	51,454	47,496
未払法人税等	530	7,116
賞与引当金	18,880	10,250
役員賞与引当金	6,120	—
その他	120,211	99,850
流動負債合計	197,195	164,712
固定負債		
長期借入金	52,090	28,342
固定負債合計	52,090	28,342
負債合計	249,285	193,054
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	237,338
資本剰余金	841,875	979,213
利益剰余金	524,337	482,859
株主資本合計	1,466,212	1,699,411
純資産合計	1,466,212	1,699,411
負債純資産合計	1,715,498	1,892,466

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)
売上高	703,601
売上原価	250,424
売上総利益	453,176
販売費及び一般管理費	486,109
営業損失(△)	△32,932
営業外収益	
その他	248
営業外収益合計	248
営業外費用	
支払利息	518
株式交付費	3,303
上場関連費用	2,815
営業外費用合計	6,637
経常損失(△)	△39,321
税引前四半期純損失(△)	△39,321
法人税、住民税及び事業税	1,145
法人税等調整額	1,010
法人税等合計	2,155
四半期純損失(△)	△41,477

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純損失 (△)	△39,321
減価償却費	30,953
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,630
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,120
支払利息	518
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,373
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△13,056
その他	△15,992
小計	△60,022
利息の支払額	△601
法人税等の支払額	△530
営業活動によるキャッシュ・フロー	△61,153
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
無形固定資産の取得による支出	△56,642
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,642
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△27,706
株式の発行による収入	266,616
新株予約権の行使による株式の発行による収入	8,060
財務活動によるキャッシュ・フロー	246,970
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	129,173
現金及び現金同等物の期首残高	1,197,266
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,326,440



（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2022年10月26日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2022年10月25日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式966,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ133,308千円増加しております。また、当第2四半期会計期間において新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ4,030千円増加しております。

この結果、当第2四半期会計期間末において資本金が237,338千円、資本剰余金が979,213千円となっております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大による影響について）

前事業年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間（自 2022年8月1日 至 2023年1月31日）

当社は、ビジネスマッチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。